

## C&amp;C

Cure and Care  
communication

第78号

## コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1  
Tel.082-923-8333(代) http://www.pia-gr.or.jp/

医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

介護老人保健施設 まいえ

グループホーム つばい



社会福祉法人 双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所

訪問介護事業所

居宅介護支援事業所

本年6月始めにマスコミで、65歳以上の高齢者のうち認知症の人は、平成24年時点で推計15%で462万人にのぼることが、厚労省研究班の調査でわかったことが報じられました。昭和60年に行われた前回の全国調査では、本人と家族への聞きとりデータだけ使っていたが、今回は専門医などがいって診断環境が整っている、8つの市・町で選んだ高齢者5386人分の調査データを使い、平成24年時点の高齢者人口に有病率を当てはめて推計したそうです。

その結果認知症の有病率は、昭和60年の6.3%から2倍以上の15

# ナカムラ病院 35周年を 迎えるに当たって

%の結果を得たそうです。

また軽度認知症障害(MCI)と呼ばれる認知症予備群が、約40万人いることが初めてわかったそうです。

結局、高齢者の3人か4人にひとりとは、認知症かMCIに当たることを示していることとなります。一方で厚労省は、昨年9月に「認知症施策推進5か年計画」いわゆる「オレンジプラン」を出しました。

従来、認知症の症状が悪化してから入院、入所するといった流れを根本的に見直し、早期診断と早期対応により、認知症高齢者が可能な限り在宅生活を継続できることを重視したものであります。

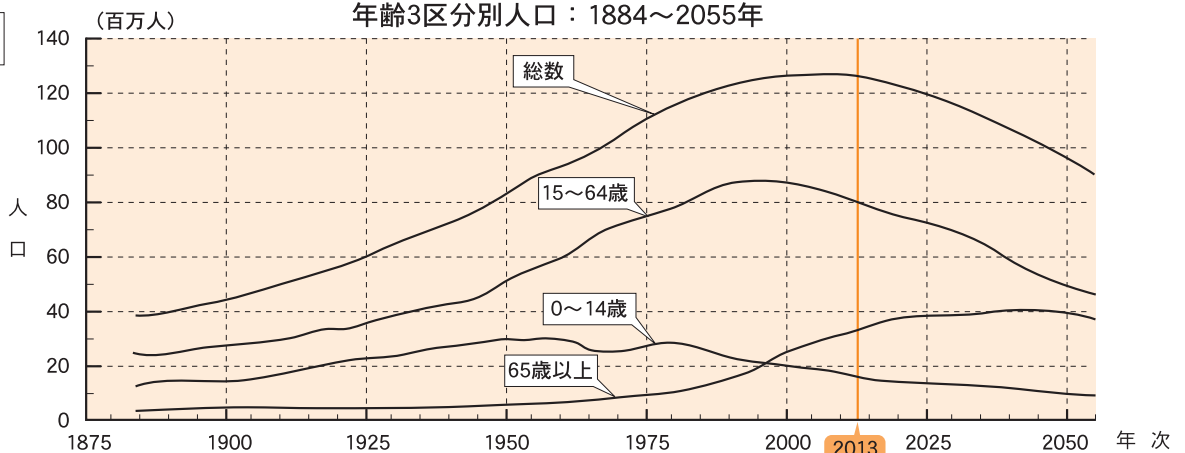
しかしながら少なくとも現時点においては根本的治療方法はなく、一方で図の如く65歳以上の高齢者は2050年までは増加傾向にあります。64歳以下は激しい減少を更に続けて、高齢者の在宅生活への支援は益々困難になっていくと考えられます。

以上、当院開設35周年を本年12月6日に迎えるにあたっての感想であります。

医療法人ピーアイエー

理事長 中村 英雄

年齢3区分別人口：1884～2055年



参照

人口の動向 日本と世界 人口統計資料集2010

国立社会保障・人口問題研究所編集

財団法人厚生統計協会発行 29頁より

※C&amp;Cコミュニケーション第67号1頁より抜粋

今年で11回目となる患者さま・利用者さま作品展。今年もナカムラ病院・デイケアにぎや家、介護老人保健施設まいえ、グループホームつばいから、個性豊かな作品が勢揃いしました。

毎年、およそ1か月間にわたり開催してきましたが、今年から開催期間を2か月間に延長することになりました。できれば、より多くの患者さま・利用者さまを作品展にお連れしたいという思いからです。

作品展を訪れた際には、自分の作品や名前を見つけるとみなさん嬉しそうにされます。こうして作

7/27 SAT 9/26 THU

第11回  
患者さま・利用者さま

# 作品展

今を生きる作品たち



品として形に残ることで、再びみなさんの笑顔が引き出せることを嬉しく思います。

作品展の感想帳には、面会にこられたご家族からご本人に向けての褒め言葉や、お孫さんの書かれた絵なども寄せられています。

作品展がご本人・ご家族のひとつの交流の場になることができたようです。

これからも、さまざまな活動を通してみなさんの「今を生きる」を援助していききたいです。

ナカムラ病院 リハビリテーション科  
作業療法士 中田まゆみ

第24回

## 介護老人保健施設大会

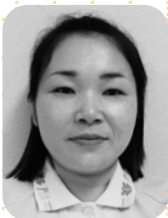
石川  
In  
金沢

「美しき川は流れたり そのほとりに我は住みぬ — 住み慣れた地域で、その人らしく —」

【会期】平成25年7月24日～26日 まいえからは4名の職員が参加し、2名が発表を行いました。

### 「利用者さま体験から技術向上を目指して」

▶ まいえ1 介護職 芳川 恵子



さまざまなケアニーズが求められる中、利用者さま個々に応じたケアがなされているかを疑問に思う声がかきつけとなり今回の発表に結びつきました。普段行っているケアを実際に体験することでその苦痛や負担を感じる事が出来、どうすれば少しでも軽減出来るかを勉強会や介助方法の見直しを行うことで取り除くことが出来ました。また介助技術のレベルアップが職員の自信にも繋がりました。ここで満足することなく日々努力を行い、個々にあったケアを行っていきたいです。

### 「意識・技術の向上で骨折・外傷をゼロに！ ～骨折・外傷をなくすための取り組み～」

▶ まいえ2 介護職 堀田 愛梨



今回、骨折・外傷予防の研修後、職員がどの程度研修内容を理解・意識して介助を行っているかアンケートを実施しました。その結果を踏まえ技術チェックや勉強会を重ね、職員の安心・安全に対する意識が強くなり、正しい技術を身に付けることが利用者さまの安全・安心に繋がることを改めて認識しました。今後も更なる意識・技術の向上を目指し、意識付けを強化し、応用も出来るようになることを課題に、事故報告ゼロを維持していきたいです。

第15弾

# 快護の匠



今回は陽溜まりの会～若年期認知症の人と家族のつどい～の紹介です。今回説明して下さる匠は、陽光の家居宅介護支援事業所の松本慶太さんです。

## 陽溜まりの会 ～若年期認知症の人と家族のつどい～

若年期認知症とは、65歳未満で発症する認知症のことを指します。若年期認知症の特徴としては、①病気の進行が早い ②最初は仕事を怠けていると思われたり、うつ病など他の病気と診断されたりして、受診や治療が遅れがちになる ③収入がなくなり、子育てに影響する ④夫婦のどちらかが介護者になる事が多く負担が大きいなどがあります。

前回紹介させていただきました認知症の人と家族の会広島県支部では、若年期認知症の人が集う「陽溜まりの会」が開催されています。陽溜まりの会は平成15年に廿日市市で始まり、現在は「陽溜まりの会西部(廿日市市)」、「陽溜まりの会広島(広島市)」、「陽溜まりの会東部(福山市)」、「陽溜まりの会北部(三次市)」の4箇所で開催しています。陽溜まりの会北部(三次市)は今年の8月に発足したばかりです。陽溜まりの会サポーターの構成メンバーは、医師、歯科医、臨床心理士、大学教授、保健師、社会福祉士、介護福祉士、ヘルパー、障がい者、世話人などの専門職と一緒に運営されています。

陽溜まりの会は若年期認知症の人と家族のみなさまを中心に月に1度、一緒に集まって日々の情報交換やレクレーションを行っています。陽溜まりの会広島では今年の6月にそば打ち体験、7月にプラネタリウムの見学をしています。楽しいことだけでなく、悩みも相談できるつどいの場になっています。

若年期認知症は、働き盛りの世代が離職せざるを得なくなる事が多く、家族の経済的、精神的負担が大きいので、陽溜まりの会では、本人や家族が孤立しないように同じ境遇にある方からの体験談やアドバイスを聞く事が大切だと考えています。そして本人や家族が仲間と出会い、笑顔で過ごせる事を目標としています。陽溜まりの会への参加を希望される方は、まずは認知症の人と家族の会広島県支部事務所にお問い合わせください。

### ●陽溜まりの会西部

【日 時】 毎月第4土曜日 午前11時～午後3時30分

【場 所】 廿日市市総合健康福祉センター「あいプラザ」2階(廿日市市新宮一丁目13-1)

【参加費】 500円

### ●陽溜まりの会広島

【日 時】 毎月第2土曜日 午前11時～午後3時30分

【場 所】 中区地域福祉センター5階(広島市中区大手町四丁目1-1 大手町平和ビル)

【参加費】 500円と実費負担(行事の内容によって異なります)

陽溜まりの会についてのお問い合わせは、

公益社団法人 認知症の人と家族の会広島県支部 世話人代表 村上 敬子

事務所 〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目6-29(広島県健康福祉センター2階)

TEL 082-254-2740 FAX 082-256-5009

Eメール [afcdejpn-hiroshima@k7.dion.ne.jp](mailto:afcdejpn-hiroshima@k7.dion.ne.jp) ホームページ <http://www.juvenile-alzheimer.jp/>

# ピーアイエーグループ ホームページがリニューアルしました

ホームページをリニューアルしてから2年が経ちました。細かな更新や修正はその都度手を加えてきましたが、より多くの方に興味を持っていただけるよう新たにコーナーを設けました。さらに行事の開催や情報を皆さまと共有し、ピーアイエーの魅力をお届けするためFacebookも始めます。

インターネットを通じさまざまな方と繋がるきっかけとなれば幸いです。皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。  
事務部 松尾 美沙



新しく道路が出来ました。道案内の看板も付き、当院へのアクセスが分かりやすくなりました。

文字サイズが変更でき、老眼の方でも見やすいよう工夫しています。

法人内のイベントをはじめとした情報を発信していきます。興味を持っていただければ『ナカムラ病院Facebook』をのぞいてみてください。

湯来で減農薬耕作での稲作に取り組んでいます。稲の成長の様子を写真と共に紹介しています。

花壇やベランダで利用者さまと共に園芸活動を行っています。野菜の写真とコメントをご覧いただけます。

## スタンプインタビュー



毎回シリーズでお届けしている各部署責任者へのインタビュー。今回はB5病棟の沖中麻紀病棟科長です。

Q. 看護師を目指されたきっかけを教えてください。

A. 祖母と母が看護師という事もあり、身近な職業に感じていました。学生の時、看護師1日体験に参加し、自分に向いていると感じました。

Q. 仕事にやりがいを感じるのはどのような時ですか？

A. 以前は、患者さまから感謝されたときでした。今は、患者さまのことを考え、スタッフと一丸になり対応を行うことで穏やかに入院生活を送っていただけていることです。

Q. 今一番の楽しみはなんですか？

A. 子どもと一緒に遊ぶことです。それから、女子会でのおしゃべりです。忙しくて集合できないときはLINEで会話しています。

Q. 今後、挑戦してみたいことはありますか？

A. 日進月歩してゆく医療の中で、勉強の必要性は感じているので、認知症ケア専門士、ケアマネ、認定看護師など資格に向けて取り組んでいきたいです。そして、将来的には在宅看護に携わりたいです。

あひがひんぐらまこと。

連日うだるような猛暑日が各地で続く中、7月27日(土)に25周年の陽光の家夏祭りが開催されました。

今回の夏祭りには、地域の住民も招いており、子供たちから高齢者まで幅広い世代が一緒になって楽しめる行事を目指しました。

屋台や催し物は、玄関前で行われ、夜店は、1階デイサービスフロアーに設けられました。

ボランティアの方々によるひよっこ踊り、特養職員の仮装と催し物も大盛況でした。

屋台の食事は、厨房職員が中心になって作り、定番の焼そば・焼き鳥からわらび餅・綿菓子までメ

## 陽光の家通信

### 【25周年陽光の家夏祭り】

ニューも豊富で、参加者全員美味しくいただきました。

夜店には、子供たちが列を作りヨーヨーすくいや輪投げを楽しむ姿が目立ちました。

入所者にとっては、家族とのひと時を楽しむと共に、季節を感じられ、刺激を得られる時間になったことかと思われまます。

多くの方々のご協力のもと、今年の夏祭りも無事終えることができました。今後も益々地域に根付ける施設として発展していけるよう努めたいと思います。

特別養護老人ホーム 陽光の家

ふれあいユニットリーダー

山崎 将一



## 100歳の お祝い

9月20日(金)に、広島市より3名のかたの長寿を祝い、記念品(賞状2通・銀杯・置き時計など)が贈呈されました。

お三方は、100年という長い年月を生き抜き、日本の歴史を作ってくださいました。今でもなお、こうして元気なお姿を拝見することができるのは大変喜ばしいことです。職員一同からも心よりお喜び申し上げます。

私たちもお三方を見習い、精一杯業務に励んでまいりたいと思います。どうぞこれからもお元気で日々の生活をお過ごしてください。



8月6日(火)つばいの入居者さま全員で、レストランエムズに食事に出掛けました。車に乗ってさあ出発! あつという間に目的地に到着しました。

今回は、松花堂弁当に茶碗蒸し、それにお味噌汁と食後の飲み物

グループホーム つばい 介護職 一田 理紗

8月6日(火)つばいの入居者さま全員で、レストランエムズに食事に出掛けました。車に乗ってさあ出発! あつという間に目的地に到着しました。

今回は、松花堂弁当に茶碗蒸し、それにお味噌汁と食後の飲み物

グループホーム つばい 介護職 一田 理紗

## つばい こぼれ話

### レストランで お食事の巻



まで付いた豪華版。食後の飲み物は、コーヒーや紅茶、オレンジジュースなど数種類の中から各自好きなもの



▲デザートも作りました



# いきいき 行事だより

夏 拡 大 版



デ  
イ  
ケ  
ア  
ビ  
ア  
ガ  
ー  
デ  
ン

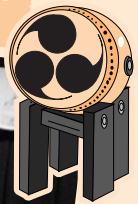
にぎや家



鼓遊会さまによる和太鼓演奏 ▶



▲ムーンライトストーンズさまによるギター演奏とコーラス



納  
涼  
会  
お  
楽  
し  
み

全体行事

7月



- 喫茶ボランティア(陽光の家)
- 生花クラブ(陽光の家)
- 七夕祭り(B5・B6・A3・まいえ2)
- 七夕会&水ようかん作り(まいえ1)
- 昼食バイキング(まいえ1・まいえ2)
- 運営推進会議(つばい)
- 法話会【西楽寺】(陽光の家)
- ゆかたまつり(にぎや家)
- 6月・7月お誕生日会(まいえ1)
- 手作りおやつ(つばい)
- フルーツバイキング(B7)
- B1・B3・B4合同夏祭り(リハビリ)
- 夏祭り(陽光の家)

8月



- 生花クラブ(陽光の家)
- 夏祭り(B5・まいえ1)
- 夏遊び(B7)
- 外食(つばい)
- 流しそうめん(まいえ2)
- 大正琴慰問(陽光の家)
- 真夏の映画鑑賞(A3)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 納涼お楽しみ会(全体行事)
- 法話会【教専寺】(陽光の家)
- 8月お誕生日会とアイスクーキバイキング(まいえ1)
- デイケアピアガーデン(にぎや家)
- 手作りおやつ(つばい)

9月



- 喫茶ボランティア(陽光の家)
- 生花クラブ(陽光の家)
- B1・B2・B3・B4法話会(リハビリ)
- 敬老会(陽光の家)
- 汗をかいて冷たくておいしいものを食べる(B7)
- お茶会(A3)
- 料理教室(まいえ1)
- ドッグセラピー(まいえ2)
- 敬老会(全体行事・つばい・陽光の家)
- 運営推進会議
- 昼食バイキング(まいえ2・にぎや家)
- 秋の大運動会(まいえ1)
- 小運動会(B5)
- 料理【かぼちゃスープ・サンドイッチ】(まいえ2)

## 行事ダイジェスト



夏

遊

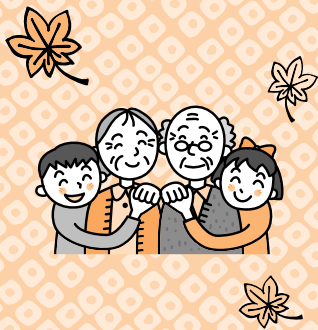
び

B7病棟

▲プールに水をはって、足もとヒンヤリ



▲おやつにかき氷を食べていただきました



広島オペラアンサンブルの  
みなさまによるオペラ  
「ヘンゼルとグレーテル」



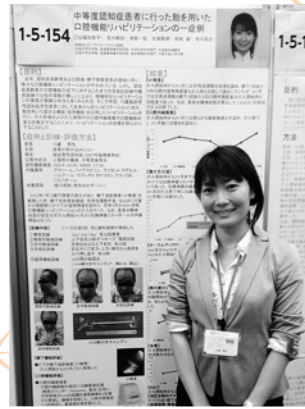
敬

老

会

全体行事

# カボデンタル賞を受賞して



▲会場にて

この度、5月に福岡で開催された第122回日本補綴歯科学会ポスター発表にてカボデンタル賞を賜りました。演題名は「中等度認知症患者に行った飴を用いた口腔機能リハビリテーションの一症例」です。この発表は広島大学先端歯科補綴学教室の吉川峰加准教授をはじめとする研究グループと共同で行いました。

当院の患者さまの中には、食事の中にむせる方や、食事がスムーズにいかない方がいらっしゃいます。そのような方に食べるための訓練（摂食嚥下訓練）を行う時、認知症が原因でなかなか従来の訓練が進まないことが多くあります。そこで私達は、飴を舂めることが訓練につながるのではないかと考え、

患者さまに6ヶ月間、週に3回程度、15分間棒付き飴を舂め続けていただきました。もちろん可能な時は、従来の訓練も追加で行いました。すると、徐々に口の中の細菌数が減少し、食べるための舌の力（舌圧）が増強したのです。

口を動かすことは、唾液を増やし、顔や舌の筋力トレーニングになります。この結果から、話すことや口を動かすことが少ない高齢者が、飴を舂め続けることによって、口腔の環境改善、さらに廃用防止と機能向上につながったのではないかと考えました。食べることは誰にとっても必要不可欠であり、生き甲斐でもあります。私達の研究が今後も高齢者の方々にとって



▲授賞式にて

## ～ 院外発表 ～

- 3rd ESSD congress, Malmo, 2013 9月13日-14日  
Relationship between maximum tongue pressure and swallowing function in ALS patients  
発表者 歯科医師 吉川 峰加
- 第21回広島口腔ケア研究会 7月7日  
慢性期医療施設における経口摂取への取り組み～継続したチームケアにより3食経口摂取が可能となった一症例～  
発表者 歯科衛生士 富来 博子
- 日本歯科衛生学会雑誌 8月号 vol.8 No.1  
摂食・嚥下訓練の実施と舌接触補助床の装着により楽しみレベルの経口摂取に繋がったアルツハイマー型認知症患者の一例  
発表者 歯科衛生士 板木 咲子

少しでもお役に立てたら幸いです。最後に、本研究の機会を与えてくださいました理事長中村英雄先生をはじめ、数多くのご指導およびご協力を賜りました赤川安正教授、吉川峰加准教授、津賀一弘准教授、病棟職員、歯科衛生士の方々に感謝の意を捧げるとともに、厚く御礼申し上げます。

ナカムラ病院  
歯科医師 落合加奈子



平成25年 10月 ▶ 平成26年 1月

### 今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。

| 展示場所     | 期間・内容                            |
|----------|----------------------------------|
| 第一展示コーナー | 10月中旬 ▶ 12月下旬 夢をあつめて キッズアート展     |
|          | 12月下旬 ▶ 1月下旬 2014年 カレンダー展        |
| 第二展示コーナー | 10月中旬 ▶ 12月下旬 広島市立大学芸術学部 学生有志作品展 |
|          | 12月下旬 ▶ 1月下旬 2014年 カレンダー展        |

### 編集後記

秋も深まり、過ごしやすい季節がやってきました。さて、先日我々が広島東洋カープのクライマックスシリーズ初進出が決定しましたね。カープが上位になるのは1997年以来、16年ぶりだそうです。日本シリーズ進出に向けて頑張ってもらいたいものですね。